

まちに広がる笑顔と活気
もっと! ぐらしやすいまち はむら

令和7年度 羽村市の予算
わかりやすい最初の一步!

令和7年4月

羽 村 市 



羽村市公式キャラクター「はむりん」

目 次

1	予算とは	1
2	会計とは	1
3	市の収入	2
4	市税の状況	3
5	市の支出	4
6	市債の状況	6
7	基金の状況	8
8	市の財政状況	10
9	健全な財政運営に向けた取組	13

<注>本書の表、グラフ、説明等は、表示単位の端数処理（原則として、四捨五入）により、合計等が一致しない場合があります。

1 予算とは

市が、様々な事業をするために必要な収入と支払い（支出）を見積もり、一覧表にして市民の皆さんが納める税金や国・東京都からの補助金などがどう使われるのか、どのように市民にサービスとして戻されるのかを示したものです。予算は市民の代表である議会の議決によって出来上がり、市民の皆さんにお知らせすることが義務づけられています。

<令和7年度 羽村市の予算額>

区 分	予 算 額
一 般 会 計	260 億 2,900 万円
特 別 会 計 等	172 億 2,166 万円
合 計	432 億 5,066 万円

*特別会計等には、水道事業会計及び下水道事業会計を含みます。

2 会計とは

市の会計は、市の全ての収入と支出がわかるように一つの会計、つまり「一般会計」でやりくりするのが原則ですが、家計において家族が別々にお財布を持つように、特定の事業を実施する場合などは、適切なやりくりを行うため、特別な会計を設けています。

羽村市は、基本的な経費をやりくりする「一般会計」のほかに、4つの特別会計と2つの公営企業会計があります。

一般会計：基本的な経費をやりくりする市の根幹となるお財布です。

特別会計：特定の事業を行う場合、そこから発生する特定の収入を、支出に充てて独立してやりくりするお財布です。一般会計のお財布から必要なお金のやり取りがあります。

公営企業会計：地方公営企業法を適用している事業のやりくりをするお財布です。羽村市では水道事業と下水道事業が該当します。特別会計と同様に一般会計のお財布から必要なお金のやり取りがあります。

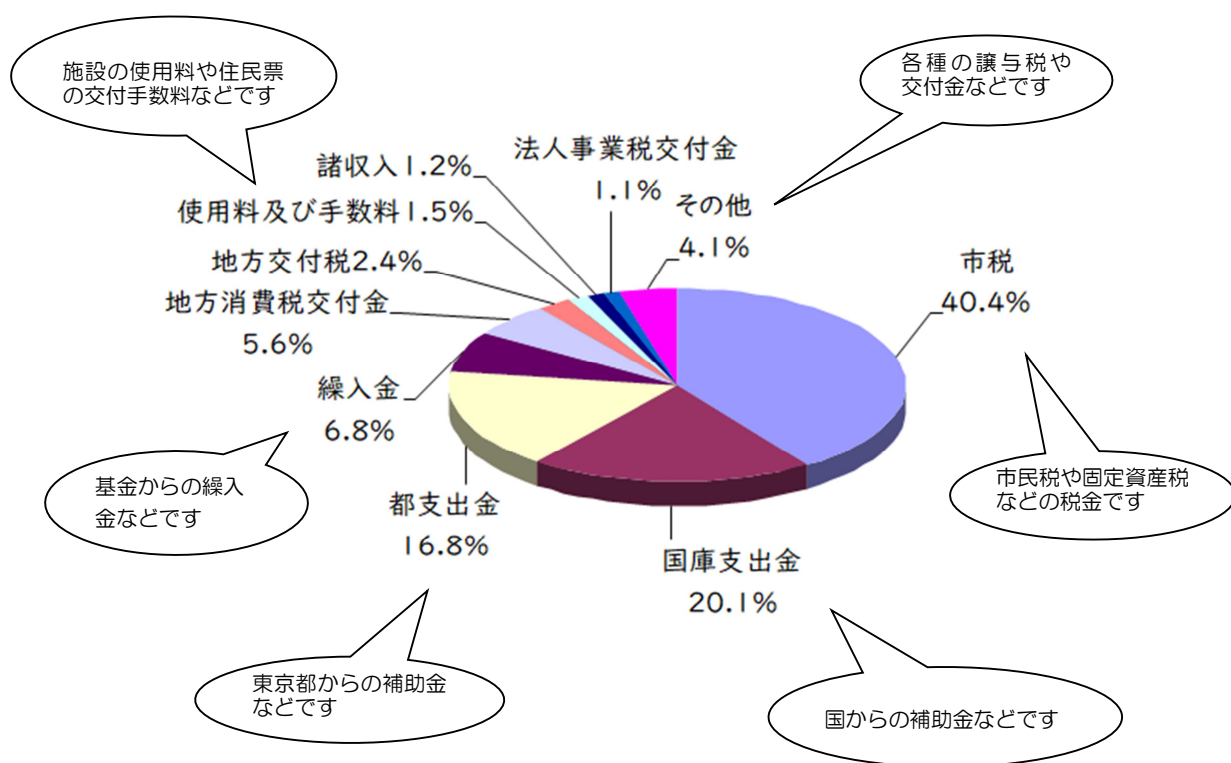
<特別会計等の予算額>

区 分		予 算 額
特別会計	国民健康保険事業会計	55 億 6,630 万円
	後期高齢者医療会計	16 億 5,010 万円
	介護保険事業会計	44 億 9,870 万円
	羽村駅西口土地区画整理事業会計	18 億 5,410 万円
公営企業会計	水道事業会計	18 億 4,242 万円
	下水道事業会計	18 億 1,004 万円

3 市の収入

市の収入の内訳は、次の表・グラフのとおりです。

区 分	予 算 額
市税	105 億 1,866 万円
国庫支出金	52 億 4,482 万円
都支出金	43 億 7,429 万円
繰入金	17 億 7,160 万円
地方消費税交付金	14 億 5,351 万円
地方交付税	6 億 2,400 万円
使用料及び手数料	3 億 8,526 万円
諸収入	3 億 162 万円
法人事業税交付金	2 億 9,365 万円
その他	10 億 6,159 万円
合計	260 億 2,900 万円



4 市税の状況

市税収入は105億1,866万円で、前年度と比較して4億8,062万円(4.8%)の増を見込みました。

市民税個人分は、所得の伸びや定額減税が終了した影響を見込み、前年度と比較して8.0%増の35億4,682万円としました。

市民税法人分は、物価上昇や為替の影響、海外情勢などの不安要素はあるものの、景気の緩やかな回復を見込み、前年度と比較して4.0%増の3億8,912万円としました。

固定資産税は、家屋の新增築分、市内企業の設備投資等による償却資産分の増などを見込み、前年度と比較して4.2%増の51億6,853万円としました。

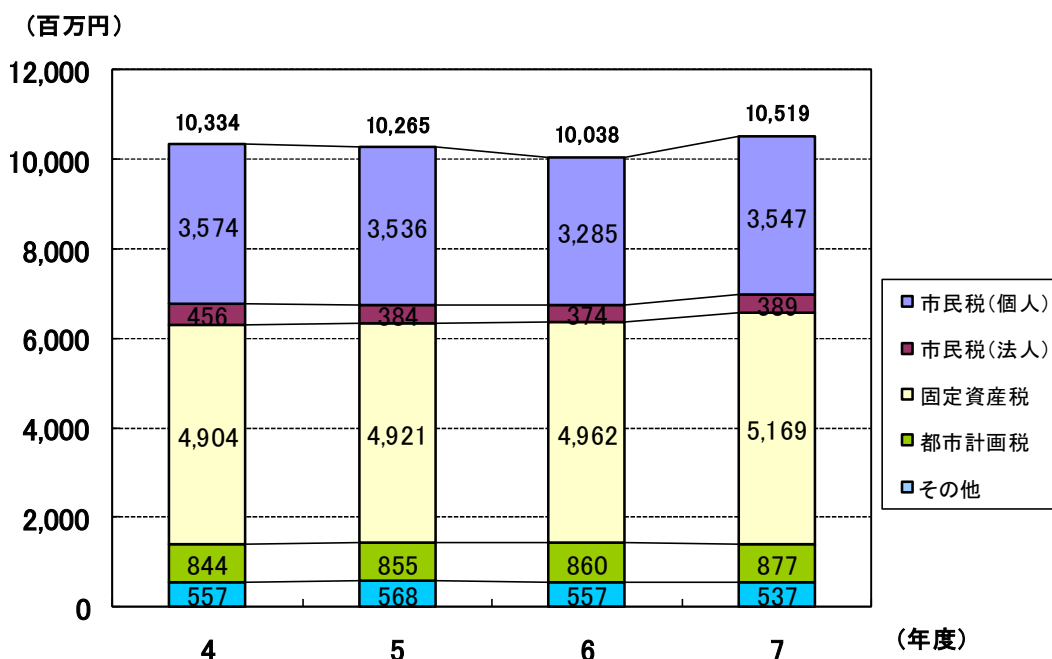
市たばこ税は、売上本数の減を見込み、前年度と比較して5.6%減の4億600万円としました。

軽自動車税は、新税率・重課税率の適用や環境性能割の増などを見込み、前年度と比較して3.5%増の1億3,121万円としました。

なお、歳入における市税構成割合は40.4%となっています。市税収入の内訳は、次の表・グラフのとおりです。

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
市 税 全 体	103億3,430万円	102億6,457万円	100億3,804万円	105億1,866万円	
税 目 別 内 訳	市民税(個人)	35億7,375万円	35億3,645万円	32億8,538万円	35億4,682万円
	市民税(法人)	4億5,626万円	3億8,437万円	3億7,418万円	3億8,912万円
	固定資産税	49億363万円	49億2,084万円	49億6,160万円	51億6,853万円
	都市計画税	8億4,393万円	8億5,451万円	8億6,016万円	8億7,698万円
	市たばこ税	4億3,552万円	4億4,146万円	4億3,000万円	4億600万円
	軽自動車税	1億2,122万円	1億2,694万円	1億2,673万円	1億3,121万円

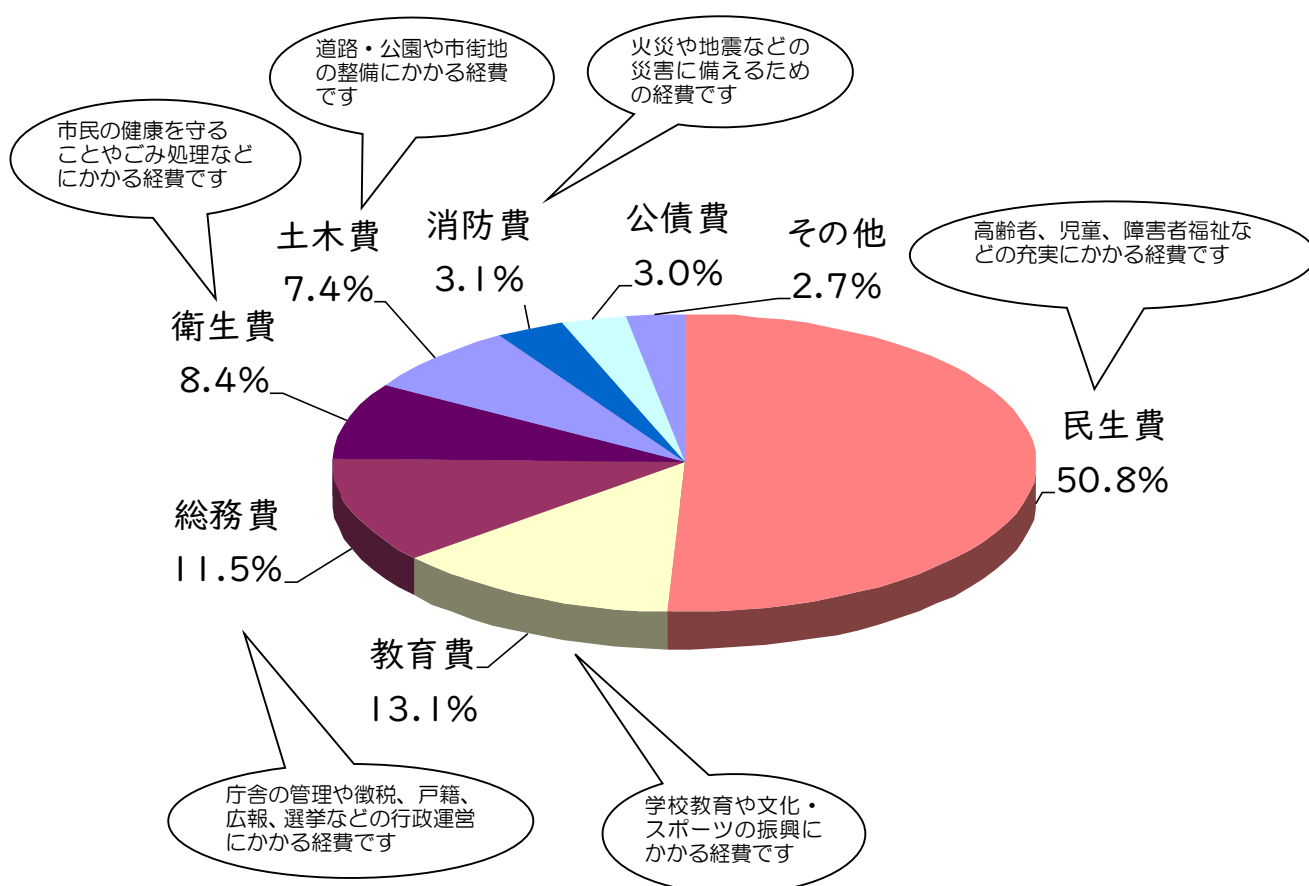
※令和4、5年度は決算額、令和6、7年度は当初予算額です。



5 市の支出

市の支出の内訳は、次の表・グラフのとおりです。

款	予算額
民生費	132億2,113万円
教育費	34億1,263万円
総務費	29億9,254万円
衛生費	21億8,310万円
土木費	19億1,839万円
消防費	7億9,438万円
公債費	7億7,993万円
商工費	3億4,141万円
議会費	2億6,595万円
その他	1億1,954万円
合計	260億2,900万円



！ 一般会計予算を市民一人あたりに換算すると・・・

一般会計の予算額を、令和7年1月1日現在の住民基本台帳人口で割ると、市民一人あたり48万896円になります。(人口:5万4,126人)

市民一人あたりの収入の状況は・・・



市民一人あたりの支出の状況は・・・

議会費 4,914円  議会運営に	総務費 5万5,288円  庁舎の管理や徴税、戸籍、 広報、選挙など行政運営に	民生費 24万4,266円  高齢者、児童、障害者などの 福祉の充実に	衛生費 4万334円  市民の健康を守ることや ごみ処理などに
労働費 0円  勤労者の福祉、 働く場の提供などに	農林費 1,553円  農業などの振興に	商工費 6,308円  商工業・観光の振興、 消費者行政に	土木費 3万5,443円  道路、公園や 市街地の整備に
消防費 1万4,676円  火災や地震などの 災害に備えて	教育費 6万3,050円  学校教育や 文化・スポーツの振興に	公債費 1万4,409円  借入れた市債の返済に	諸支出金・予備費等 655円  土地の取得や 不測の事態などに

6 市債の状況

公共施設を建設したり、道路や下水道を整備したりするには一度に多額のお金が必要になります。このお金の不足を補うために、市は「長期ローン」で国や東京都、銀行などから借金をします。これを市債と言い、借入れた市債を返すための費用を公債費と言います。

市債にはお金の不足を補う目的のほかに、もう一つ目的があります。それは、公共施設など将来にわたって利用するものについて、現世代の市民だけに負担してもらうのではなく、将来、サービスを受けることとなる後世代の市民にも公平に負担してもらおうという「世代間負担の公平」の目的です。

そのため、市では将来の負担が重くなり過ぎないように注意しながら、計画的に市債を借入れるように努めています。

<令和7年度に借入れる市債>

☆ 市道改修等事業債	4,910万円
☆ 児童館空調設備等改修事業債	4,760万円
☆ 福祉センター防音機能復旧事業債	1,050万円
☆ スポーツセンター空調設備等整備事業債	650万円

<一般会計市債残高見込>

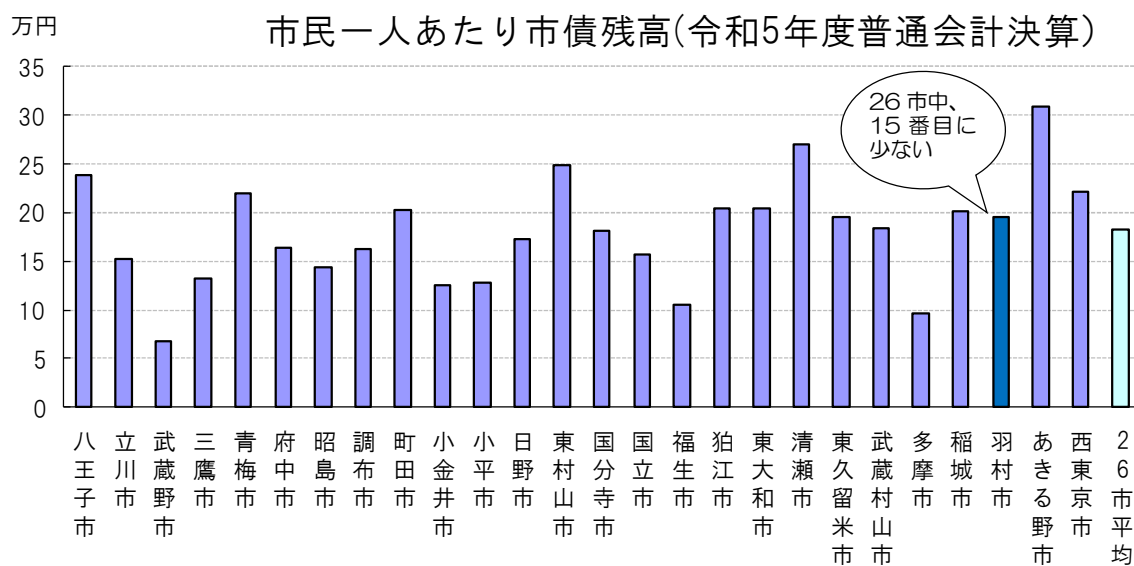
区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
市債借入額	3億9,400万円	3億620万円	6億3,280万円	1億1,370万円
市債償還額	8億191万円	7億8,806万円	7億9,286万円	7億7,637万円
元 金	7億7,785万円	7億6,767万円	7億7,539万円	7億5,546万円
利 子	2,406万円	2,039万円	1,747万円	2,091万円
市債残高	76億1,695万円	71億5,548万円	70億1,289万円	63億7,113万円

※令和5年度までは決算額、令和6年度は決算見込額、令和7年度は当初予算額です。

令和7年度末の借金の残高見込みは、63億7,113万円で、市民一人あたりの借金の残高見込みは11万7,709円となり、令和6年度決算残高見込みと比べると1万1,857円減少しました。

参考に、令和5年度決算(普通会計)における東京都26市の市民一人あたりの市債残高比較を見てみると、羽村市は26市中15番目(19万2,122円/人)に少ない市となっています。

(市民一人あたり市債残高 26市平均 17万9,816円/人)



普通会計とは、一般会計と公営事業会計以外の特別会計を一つにまとめた会計（羽村市では一般会計と羽村駅西口土地区画整理事業会計）で、他の自治体と財政状況の比較ができます。

7 基金の状況

基金とは、一般家庭の「貯金」にあたります。将来の財政需要に備えて積み立てておいて、お金が不足する年や、施設の大規模な改修など特定の目的に使うために活用しています。基金は市の条例などに基づいて設置し、運用を行っています。

令和7年度末の基金残高の見込みは25億2,954万円です。市民一人あたりに換算すると、4万6,734円となります。

参考に、令和5年度決算（普通会計）における東京都26市の市民一人あたりの基金残高の比較を見てみると、羽村市は26市中8番目（7万8,000円/人）に少ない市となっています。

（市民一人あたり基金残高 26市平均 12万647円/人）

<一般会計基金残高見込>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
基金残高	29億6,956万円	44億6,082万円	42億4,448万円	42億9,436万円	25億2,954万円
財政調整基金	20億4,790万円	28億6,245万円	20億4,268万円	22億1,495万円	10億4,060万円
減債基金	2億5,100万円	2億5,100万円	2億9,170万円	3億2,408万円	2億6,194万円
特定目的基金	6億7,066万円	13億4,737万円	19億1,010万円	17億5,533万円	12億2,700万円

※令和5年度までは決算額、令和6年度は決算見込額、令和7年度は当初予算時の決算見込額です。

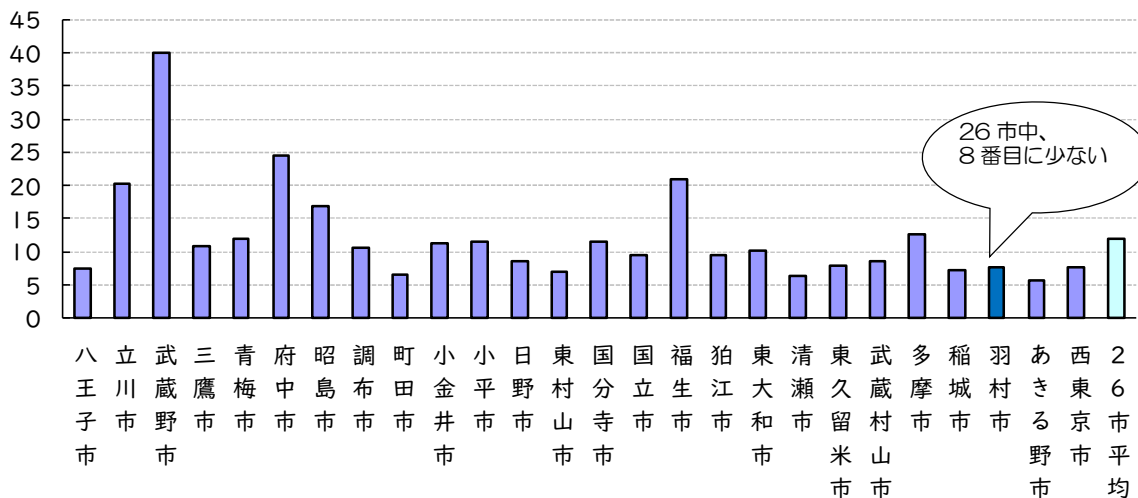
※財政調整基金=年度間の財源不足などを調整するための基金です。

※減債基金=市債の返済を計画的に行うための資金を積み立てる基金です。

※特定目的基金=特定の使用目的のために資金を積み立てる基金で、8基金を設置しています。

例) 公共施設整備基金、教育振興基金など

万円 市民一人あたり基金残高（令和5年度普通会計決算）





令和7年度一般会計予算を家計簿で見ると・・・

令和7年度一般会計予算を、家庭の毎月の家計費20万円に置き換えて考えると、一世帯あたりの収入・支出の内訳は、次のとおりとなります。

収 入		支 出	
給料 (市税)	8万800円	医療費 (扶助費)	6万9,600円
親からの援助 (国・都支出金・地方譲与税など)	9万8,000円	子どもへの仕送り (補助費等、繰出金)	5万1,200円
物を売ったお金、預貯金の利子や配当 (諸収入など)	2,600円	食費 (人件費)	3万1,800円
預貯金の取り崩し (基金繰入金)	1万3,600円	光熱水費、電話代 (物件費)	3万4,600円
銀行からの借入れ (市債)	800円	ローンの返済 (公債費)	6,000円
家賃収入 (手数料・使用料、分担金など)	3,400円	家の修理・整備、家電製品の購入 (普通建設事業費)	4,600円
前月から繰り越したお金 (繰越金)	800円	その他 (積立金など)	2,200円
合 計	20万円	合 計	20万円

()内は、市の予算に置き換えた費目(性質別を含む)を表します。

この家庭では、給料が8万800円のため、20万円の支出に対し11万9,200円不足しています。そのため、親からの援助や預貯金の取崩し、銀行からの借入れなどで家計費を賄っています。

借金や預貯金の取崩しをなるべく少なくするため、余計なものは買わないなどの努力をしていますが、家族の医療費などが増加してしまい、厳しい家計状況は、ここ数年変わっていません。

将来への貯蓄も必要なため、収入を増やすとともに、無駄遣いをなくすよう家族全員で協力しなければなりません。

8 市の財政状況

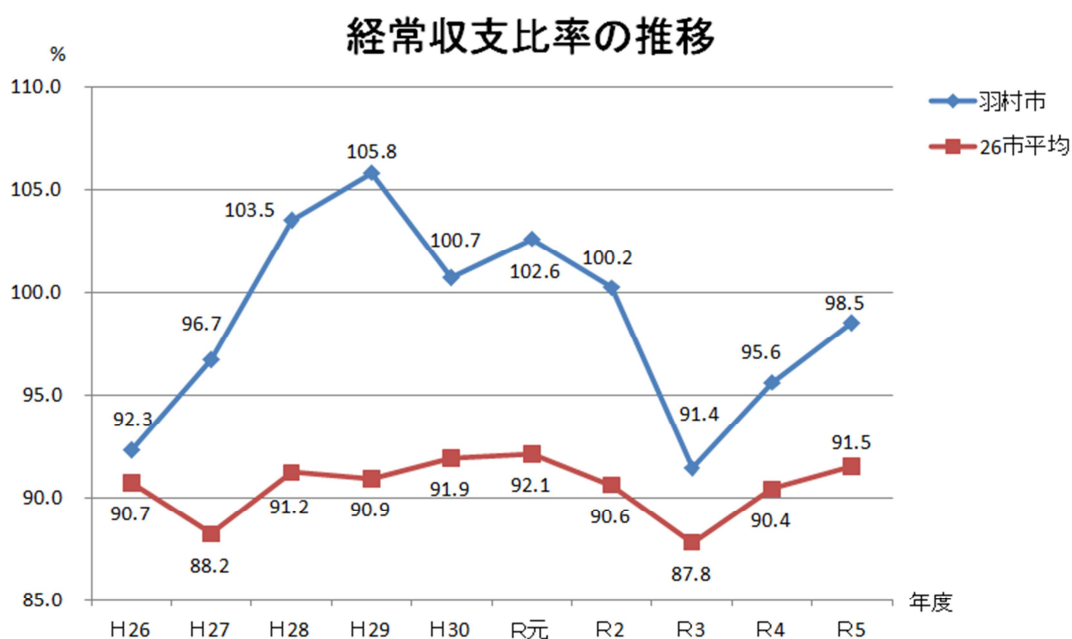
市の財政状況を知るうえで様々な指標が存在しますが、ここでは、国が定める財政指標と財政健全化判断比率のうち3つの指標から羽村市の財政状況を見ます。

けいじょうしゅうしひりつ <経常収支比率>

市が毎年の事業を行うにあたり、福祉や医療などの社会保障に係る経費や市の借金の返済、職員の給料など「決まって支払われる経費」に対して、税金など「決まって入ってくる収入」がどの程度使われているかをみる指標です。

家計に例えるなら、毎月の生活費やローンの返済にお給料がどれ位使われているか、といったイメージです。

この指標が高くなると、「自由に使えるお金が少ないので、新しい事業にお金が使えない状態」でもあり、柔軟な財政運営が難しい状態とも言われます。羽村市の経常収支比率は、令和3年に91.4%まで下がりましたが、令和4年以降右肩上がりに上昇しており、財政構造の硬直化が進んでいる状況にあると言えます。



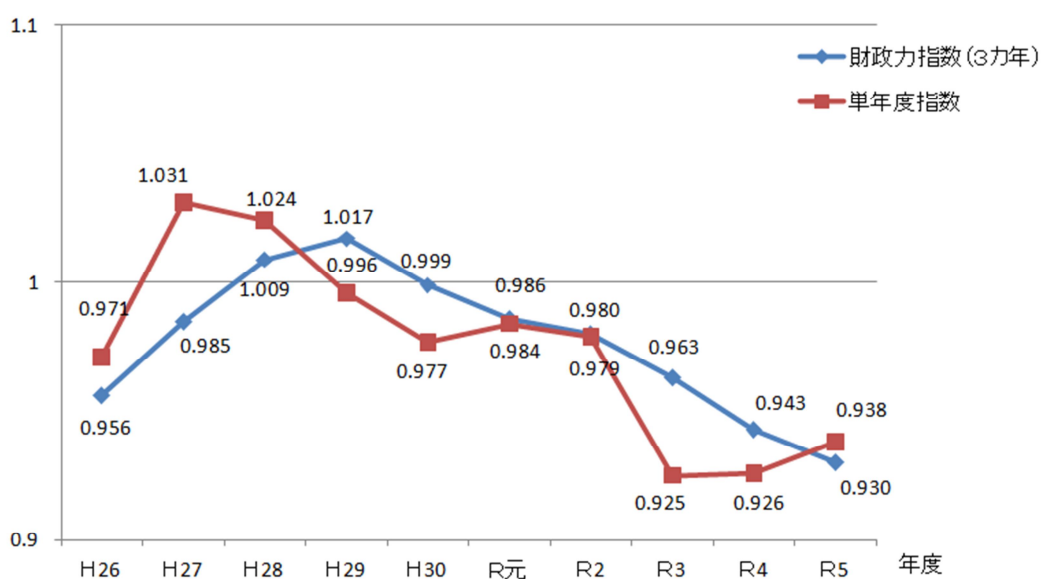
ざいせいりよくしすう
<財政力指数>

財政力指数は、国から交付される普通交付税の算定に伴って算出される数値で、この数値が高いほど財政力があるといわれ、単年度で1を超えると普通交付税が交付されない不交付団体となります。他団体と財政力を比較する場合には、その年度を含めた3か年の平均値を使用します。

令和5年度は、単年度の財政力指数が0.930となり、普通交付税の交付団体となりました。

ちなみに、令和5年度の普通交付税の交付団体は、全国の1,765自治体のうち、1,688団体となっています。

財政力指数の推移



*普通交付税制度は、国が地方公共団体間の財源の不均衡を調整し、全ての地方公共団体が一定水準の行政サービスを提供できるよう財源を保障する制度です。

こうさいひふたんひりつ じっしつこうさいひりつ
<公債費負担比率・実質公債費比率>

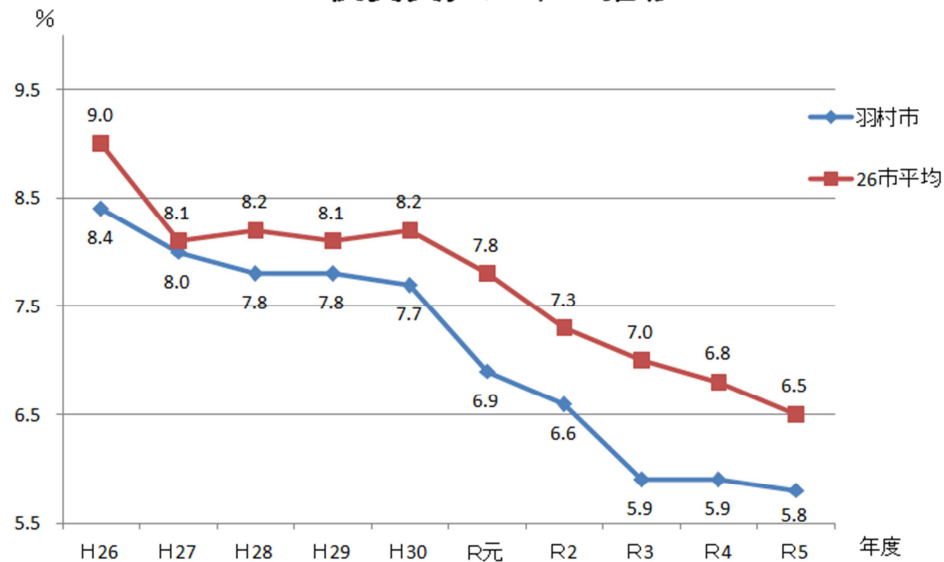
公債費負担比率は、市の借金の返済に充てた一般財源が、一般財源総額に占める割合を示す指標です。この比率が高いほど、使えるお金の自由度が制約されます。家計に例えるなら、毎月の支払いの中にどれ位ローンが占めているか、といったイメージです。

また、実質公債費比率は、上下水道事業や市が関係する組合(福生病院企業団や西多摩衛生組合etc)などの借金を含めて、市がどの位負担しているかを示す指標です。この数値が18%を超えると市が借金をするのに国や東京都の許可が必要となります。

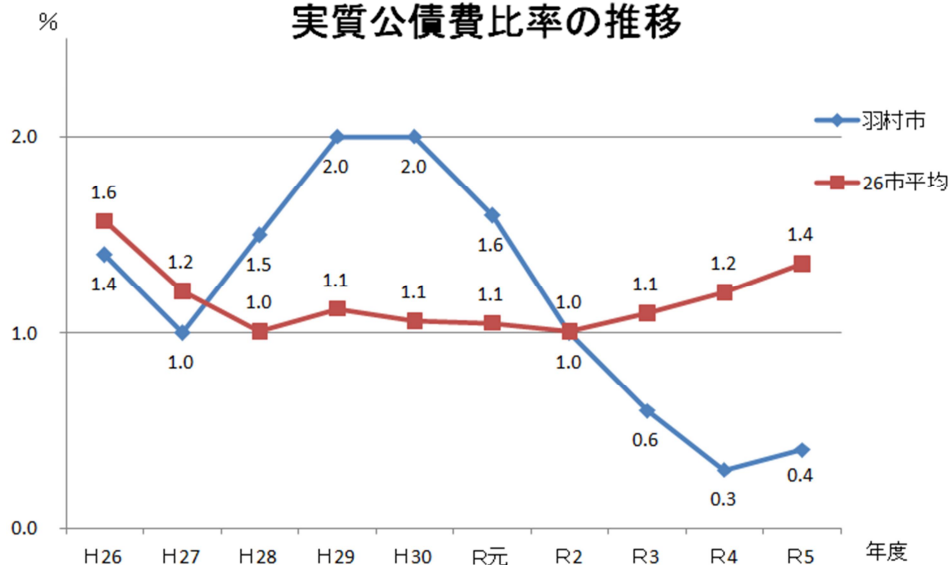
最新のデータ(令和5年度決算)では、羽村市の公債費負担比率は5.8%(26市平均6.5%)、実質公債費比率は0.4%(26市平均1.4%)となっています。

* ()内の26市平均値は「令和5年度市町村決算状況調査結果(令和5年12月)」「市計」より引用

公債費負担比率の推移



実質公債費比率の推移



9 健全な財政運営に向けた取組

少子高齢社会の進展に伴う社会福祉や児童福祉にかかる扶助費の増加、また物価高騰化における物件費の増や老朽化する公共施設の修繕費の増などに加え、市民ニーズが多様化する中、基金の取崩し額が増え、基金残高が減少するなど、財政運営は厳しい局面にあります。

令和7年度予算編成においても、引き続き健全で安定した財政運営を行っていくため、枠配分方式による予算編成を行い、増え続ける財政需要に対応しながらも効率的、効果的な財源配分を行い歳出予算の総額を抑制する取組を行いました。また、行政改革推進本部会議において事務事業の見直しを進めるとともに、公共施設等の受益者負担の適正化を図り、予算に反映させました。

単位：千円

取組みの方向性	取組みの内容	効果額
人口動態や財政状況を踏まえた事務事業の改善・見直し	小計	3,836
	事務事業の見直し	3,836
安定的な歳入の確保	小計	84,306
	公共施設等の受益者負担の適正化【一般会計】	6,500
	水道料金の改定【公営企業会計】	77,806
合計		88,142

その他の取組

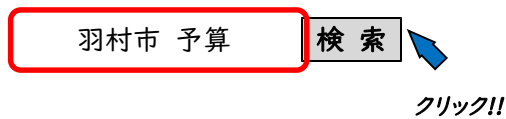
単位：千円




特別職給与の引き下げ	小計	1,605
市長10%減		1,605
合計		1,605

ここまで、市の令和7年度予算の大きな状況を見てきましたが、ここでの内容は市の予算や財政状況を知る最初の一步となっています。

市では、この他に各年度の具体的な事業を掲載した「予算説明書」や「予算書」などの冊子を、いつでも閲覧していただけるように図書館、財政課窓口に用意しています。また、これらの冊子は市公式サイトにも掲載しています。

★★★ 羽村市予算で検索してください！ ★★★



愛情 \ ギュッ / と
ず〜っと 
はむら  

令和7年度 羽村市の予算

わかりやすい最初の一步！

令和7年4月発行

発行 羽村市

編集 羽村市企画部財政課

〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘五丁目2番地1

Tel 042-555-1111(代) 内線 317~320

Fax 042-554-2921

E-mail s102500@city.hamura.tokyo.jp

URL <https://www.city.hamura.tokyo.jp/>